

心臓超音波

検査の目的 心臓の動きや、壁の厚さ、心臓内の弁の状態などを観察する検査です。

検査の方法 左側を下にして横向きに寝ていただき、左腕は上に挙げて検査を行います。
(仰向け、右向き状態で検査を行う場合もあります)
胸部に超音波用ゼリーを塗布し、プローブを当てます。

検査時間 約30分

- 検査中に軽く息止めしていただくことがあります。
- 経食道心エコー検査を受けられる方は昼食をとらないようにして下さい。



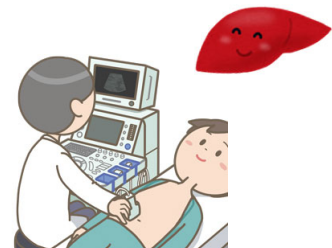
腹部超音波

検査の目的 肝臓・胆嚢・膵臓・腎臓・脾臓などの形や内部の異常がないかを調べる検査です。
同時に、胃腸・前立腺・婦人科臓器などのおおまかな異常がないかも調べます。

検査の方法 ベッドに仰向けになり、可能であれば両腕を頭の上で組んでいただきます。
途中で深呼吸してもらったり、体の向きを変えていただく場合があります。
腹部に超音波用ゼリーを塗布し、プローブを当てます。

検査時間 約30分

- 検査当日の朝食はとらないようにしてください。
- 可能であれば、検査直前の排尿は控えてください。
- 胃内視鏡、胃・腸レントゲン検査の前にお越しください。



血管超音波（頸動脈）

検査の目的 左右の頸動脈の血管の壁の状態や、血液の流れを観察する検査です。動脈硬化の状態を知ることができます。

検査の方法 ベッドに仰向けに寝ていただき、顔を少し傾けて検査を行います。頸部に超音波用ゼリーを塗布し、プローブを当てます。

検査時間 約30分

- 首元を出しやすい服装でお越しください。
- ガムやキャンディを口に入れたまま検査を受けないでください。
- 検査中、いびきをかかないようにお願いします。
- 補聴器を着用している方は、検査の際には外してください。



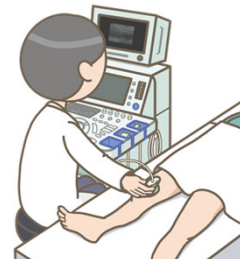
血管超音波（下肢静脈）

検査の目的 両下肢の静脈の血液の流れや血栓の有無を調べる検査です。また、静脈瘤の検査では、静脈の弁不全（逆流）の有無を調べます。

検査の方法 大腿部を観察する際にはベッドに仰向けになっていただき、下腿(膝～ふくらはぎ)を観察する際には座った状態で検査を行います。静脈瘤の検査では、座った状態または立った状態で検査を行います。下肢に超音波用ゼリーを塗布し、プローブを当てます。

検査時間 約30分（静脈瘤では約60分）

必要に応じて、検査用の使い捨てパンツを着用していただく場合があります。



血管超音波（下肢動脈）

検査の目的 両下肢の動脈が動脈硬化などにより詰まっていないか、血液の流れを調べる検査です。

検査の方法 ベッドに仰向けに寝ていただき検査を行います。
下肢に超音波用ゼリーを塗布し、プローブを当てます。

検査時間 両足全体を観察する場合：約60分 一部分の場合：約20分

必要に応じて、検査用の使い捨てパンツを着用していただく場合があります。



乳腺超音波

検査の目的 乳腺のしこりの有無やその性状などを調べる検査です。

検査の方法 ベッドに仰向けに寝ていただき、腕を頭の上に挙げて検査を行います。
乳房に超音波用ゼリーを塗布し、プローブを当てます。
女性技師が検査を担当します。

検査時間 約30分

当日、マンモグラフィの予約がある方は、先に検査を受けてから受付へお越しください。



甲状腺超音波

検査の目的 甲状腺の大きさや形状、血流状態、腫瘍の有無などを調べる検査です。

検査の方法 ベッドに仰向けに寝ていただき、必要に応じて、肩の下に枕を入れて検査を行います。
頸部に超音波用ゼリーを塗布し、プローブを当てます。

検査時間 約30分

